# 『離散構造』5章(グラフと木)の演習問題 解答例 (海野)

#### 問題 1 (無向グラフ)

無向グラフ $G_1$ を以下のように定める。

- 頂点の集合  $V = \{0, 1, \dots, 20\},$
- 頂点  $x \in V$  と  $y \in V$  の間に辺があることの必要十分条件は

 $x \mod 7 = y \mod 7$  またはx, y がともに素数

解答準備. グラフ $G_1$ を図示すると図1のようになる。

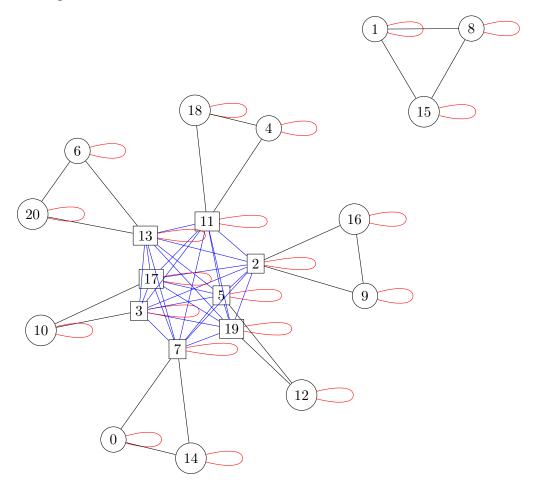


図 1: グラフ G<sub>1</sub>

### (a) 頂点7と8の次数をそれぞれ求めよ。

答. 7 以外で  $x \mod 7 = 0$  となる x は 0,14 である。また、7 以外の素数は 2,3,5,11,13,17,19 の 7 個存在する。したがって、頂点 7 の次数は 2+2+7=11 である。ここで、7 から 7 への自己ループ辺は、次数を数える際に 2 回力ウントすることに注意。頂点 8 の次数は 2+2=4 である。

- (b) 頂点 0 から 20 への道があるか調べ、ある場合はそのような道の中で最短のものを求めよ。 答.  $\langle 0,7,13,20 \rangle$  が最短の道である。
- (c) グラフ $G_1$ のサイズ(辺の本数)と位数(頂点の数)を求めよ。

答. 位数は 21 である。7 で割った余りが等しくなる頂点同士を結ぶ辺は、 $(3+3)\times 7=42$  本存在する。20 以下の素数の数は 8 個なので、異なる素数同士を結ぶ辺は  $\frac{8\times 7}{2}=28$  本存在する。ただし、異なる素数同士で 7 で割った余りが等しくなるような組み合わせとして、 $\{3,17\}$  と  $\{5,19\}$  が存在するので、それらを重複して数えないように注意すると、全体の辺の本数は 42+28-2=68 本である。

(d) グラフ $G_1$ の閉路のうち、頂点8を含み、単純道(同じ辺を通らない道)であるもののうち、最長のものを求めよ。

答. 頂点 8 を含む連結成分の辺の本数は 6 であり、その一筆書き  $\langle 8,8,1,1,15,15,8 \rangle$  が最長の道である。 長さ 6 の単純道はこれ以外にも存在し、それらを答えても正解である。

(e) グラフ $G_1$ の連結成分の個数を求めよ。

答. 頂点8を含む連結成分と頂点7を含む連結成分の2つである。

#### 問題 2 (有向グラフ)

有向グラフ $G_2$ を以下のように定める。

- 頂点の集合  $V = \{1, 2, \dots, 12\},$
- 辺の集合  $E = \{ \langle x, y \rangle \in V \times V \mid x \text{ id } y \text{ on on on one of } x \neq y \}.$

解答準備. グラフ $G_2$ を図示すると図2のようになる。

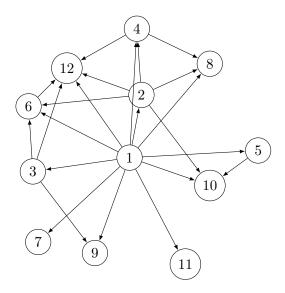


図 2: グラフ $G_2$ 

- (a) 頂点 5 と 6 の出次数と入次数をそれぞれ求めよ。
  - 答. 頂点5の入次数は1、出次数は1である。頂点6の入次数は3、出次数は1である。
- (b) 頂点 1 から 12 への単純道の個数を求めよ。
  - 答. 頂点 1 から 12 への単純道は以下の 8 個存在する。
    - 1.  $\langle 1, 2, 4, 12 \rangle$

- 2.  $\langle 1, 2, 6, 12 \rangle$
- 3. (1, 2, 12)
- 4.  $\langle 1, 3, 6, 12 \rangle$
- 5.  $\langle 1, 3, 12 \rangle$
- 6. (1, 4, 12)
- 7. (1, 6, 12)
- 8.  $\langle 1, 12 \rangle$
- (c) グラフ $G_2$ において最長の単純道の長さを求めよ。

答.  $\langle 1,2,4,12 \rangle$ ,  $\langle 1,2,6,12 \rangle$ ,  $\langle 1,3,6,12 \rangle$  が最長の単純道であり、その長さは3である。

## 問題 3 (木に関する推論)

- (a) 高さ2の2分木で異なるもの(同型でないもの)がいくつあるか答えよ。
- 答. 図3に示すように7個存在する。

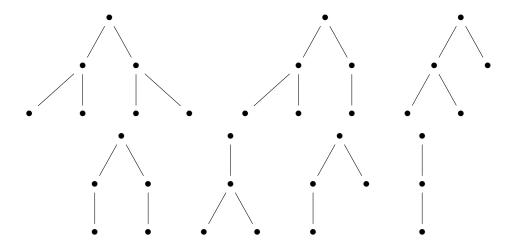


図 3: 高さ2の同型でない2分木